

## 八島ヶ原湿原シカ柵巡回マニュアル

## 巡回にご協力いただく皆様へ

シカ柵の巡回にご協力いただき誠にありがとうございます。

このシカ柵は、関係機関やボランティア等多くの皆さん（延べ 600 人）に作業をしていただき（H22～23）完成しました。

適切な維持管理により、湿原の貴重な植生を守る大きな効果が期待できますので、巡回は非常に重要な活動になります。皆様のご協力をよろしく申し上げます。

申し上げるまでもありませんが、巡回者が柵の維持管理に関係のない写真撮影などを行い、批判されるようなことがありますと、巡回活動に携わる皆さん全体の信頼失墜につながり、重大な影響がありますので、ご注意くださいますようお願いいたします。

## 1 目的

設置したシカ柵の効果を十分に発揮させるため、破損箇所の早期発見・補修を行う。  
特に、設置当初はシカが侵入しやすい箇所を見つけ対策を講じる。

## 2 巡回頻度

繁忙期（5月～11月）：週3回程度とし、雨天時やその直後は中止とする。  
閑散期（12月～4月）：月1回程度とする。

## 3 巡回人員

踏み荒らしを考慮し2名以下とする。

## 4 事前準備

- (1) 霧ヶ峰自然保護センター（以下「センター」という。）に行き、補修道具、記録用紙（防鹿柵巡回表）及び腕章を受け取る。  
なお、センターは水曜日が休館日なので、その日が巡回予定の場合は、前日までにその旨をセンターに連絡しておく。
- (2) 巡回時は長靴を着用する。種子などの持込を防ぐため、その長靴は水洗いしておく。

## 5 巡回方法

シカ柵の外側を柵沿いに巡回する。ただし、湿原内を横切る箇所（別記地図ゲートDからEの間）は、湿原内が立入り禁止のため木道等へ迂回する。

## 6 確認事項

- (1) シカ柵の破損箇所の状況及びシカ侵入の有無
- (2) シカが侵入した痕跡の有無
- (3) ゲート閉め忘れ及び破損の有無

## 7 対応をお願いする事項

- (1) 破損状況が小さい場合は応急的な補修を行う。  
（例）曲がった鉄杭の直し。  
シカが侵入するおそれがあるような金網の変形の直し。 など
- (2) 破損状況が甚大で緊急性が高い場合は、直ちにセンターに連絡する。（休館日は地方事務所環境課へ）

（裏面もご覧ください）

- (3) 報告事項がある場合、センターに記録用紙（防鹿柵巡回表）を提出する。（可能な限り写真（データ）も）
- (4) 補修道具、記録用紙（防鹿柵巡回表）及び腕章は巡回後速やかにセンターへ返却すること。

## 8 注意事項

- (1) 植生を傷めないようにする。また、報告に関係のない写真は撮らないこと。
- (2) 観光客から誤解を受けないよう腕章を付けること。また、問い合わせを受けたときは、巡回中である旨丁寧に説明すること。
- (3) 支柱 10 本毎に番号札を付けてあるので、報告の際に目印とすること。
- (4) 巡回におおむね 2 時間かかるため、途中休憩や水分補給を行い安全に考慮すること。

### 【連絡先】

霧ヶ峰自然保護センター：0266-53-6456  
諏訪地方事務所 環境課：0266-57-2952

### 【参加団体】

- ・南信森林管理署
- ・諏訪市教育委員会
- ・諏訪市自然保護指導員
- ・下諏訪町教育委員会
- ・下諏訪町自然保護指導員
- ・八島ビジターセンター
- ・霧ヶ峰自然保護センター
- ・霧ヶ峰パークボランティア
- ・諏訪地方事務所